

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型拠点ラボリベース 放課後等デイサービス ラボリダッシュ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 23日		～ 令和8年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 23日		～ 令和8年 3月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様のことを理解し、個別の課題(個別療育)や集団活動(集団療育)をバランスよく提供し、学習習慣の定着化や協調性・社会性の向上を、楽しみながら学んでいます。	活動について、お子様の「自己選択・自己決定」の視点を大切にし、まずは「選んでもらうこと」に丁寧に取り組んでいます。	お子様の障害特性に配慮しながら、曜日によってプログラムが固定化しないように柔軟に対応していきます。活動を検討する会議にて、段階に合わせた個別活動の見直しを行います。集団活動において、お子様の意見も取り入れながら活動内容の幅が広がられるようにしていきます。
2	学校休業日における活動内容の充実を図っています。	土曜・祝日の活動内容について、保護者様にアンケートを実施し来年度のスケジュールを立てています。	活動内容については20日前後にHUGの活動記録により公表し、24日の希望締め切りの前にお子様が見て参加が選べるようにしていきます。
3	ご家族との情報共有手段についてHUGのシステムを活用し、写真付きでサービス提供記録写真を掲載することで、より分かりやすく発信できるようになっています。	お知らせはHUGの活動記録によるデータによる公表を行い、スムーズな重要情報の周知に努めています。また紙による連絡帳の再導入により、当日中のご家族との情報共有、配布物のスムーズな受け渡しに取り組んでいます。	デジタル化により得意不得意による情報周知への格差は出てしまっているため、重要な文書につきましては紙媒体での周知も継続していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動部屋が現在は1部屋であることが多いです。利用者人数が多い日や活動の内容によっては、部屋の広さが十分とは言えません。	同じ部屋で個別の課題を行う際は、お子様の障害特性に合わせて、空間を仕切りながら課題に集中して取り組めるようにしています。	職員の配置上可能な時は、多目的室や相談室を利用しながら集中できる環境作りに努めています。またクールダウンの場所として、他の部屋の併用も行っていきます。
2	活動部屋の整理整頓と、部屋を広く使えるための工夫が必要です。	ロッカーや物を入れる棚の不足により、お子様の荷物や備品の整理が不十分です。何がどこにあるのかもすぐに分からないことが多く、職員で検討を行いながら清潔で整えられた環境作りを行う必要があります。	倉庫内の備品を把握し、整理整頓を行います。夏季休暇前をめぐり、使用頻度の低いものは倉庫に片づけを行いながら、誰が見ても「何がどこにある」が把握しやすい環境作りを行っていきます。
3	家族に対する家族支援プログラムや研修情報の提供、きょうだい同士での交流の場は設けられていません。	アンケートで意見が出ても、今まで実施に向けての検討がなされていませんでした。	年2回の保護者会と保護者面談を実施していきます。家族支援プログラムや研修情報の提供、交流の場についてはつづやきカフェの再開等、ベース全体での実施を検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型拠点ラボリベース 放課後等デイサービス ラボリダッシュ				公表日	令和8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	40%	60%		・場合によっては多目的室との併用も検討する。 ・ロッカー・収納スペースを増やし、お子様が荷物を入れるスペースを確保する必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	60%	40%	・特別支援学校のお子様を利用する日は、職員を多く配置している。	・職員の欠席が1名あると、送迎対応が困難になる場合がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60%	40%	・絵カードによる視覚支援を行っている。	・視覚化・構造化は改善が必要。 ・手すりに乗り遊ぶお子様がいる。必要性を感じない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	40%	60%		・物が多く整理整頓が必要。 ・運動する場としては適さないと感じる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	80%	20%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%		・保護者様の意向等について、周知されない場面が多い。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%		・外部評価について、周知されない場面が多い。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%		・情報共有の徹底に課題感あり。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	60%	40%		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	・活動会議にて検討している。	・内容の立案についても、活動会議で検討する必要がある。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	40%	60%	・活動会議にて検討している。 ・活動は曜日で固定しているが、行う内容は日によって異なるものを提供している。	・活動内容が幅については課題感あり。 ・指先の運動などは工夫が必要。 ・活動は曜日によって固定している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20%	80%	・翌日朝に朝礼にて共有している。	・送迎終了時間が19:00を過ぎてしまい、終礼の時間は取れていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	80%	20%	・2択から、本人に選ぶこと事を行っている。	・選ぶ場面を増やしていきたい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・送迎者が受け渡しの際に実施している。	・日々行っているが、連絡ミスによる送迎時間の間違いはある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	60%	40%		・前例を把握しておらず分からない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60%	40%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%	・公園への外出があり、交流の機会はある。	・他事業所との交流機会はない。今後交流会を行えると良い。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		・機会がなく参加していない。今後行えると良い。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・連絡帳・HUG記録の公開、送迎時等で実施している。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40%	60%			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時・必要時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・保護者面談・保護者会等で意向や要望を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	・保護者会で保護者同士の交流の機会は設けている。	・つぶやきカフェが実施できると良い。 ・きょうだい同士での交流の機会は設けていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	80%	20%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	・事業所の行事として行っていないが、防災訓練等は地域住民へ周知しながら行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	80%	20%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	80%	20%		・令和7年度は行えなかったが、令和8年度はHUGIにて周知していく予定。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型拠点ラポリベース 放課後等デイサービス ラポリダッシュ

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 51

回収数 24

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	58%	26%	4%	12%	・活動場所が1部屋なので、気分転換が出来る部屋があると良い。 ・部屋の広さについて、人数が揃った時に十分かどうか分からない。	・職員の配置上可能な時は、多目的室や相談室等を有効に活用していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	71%	21%	4%	4%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	79%	17%	0%	4%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	83%	17%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	83%	17%	0%	0%	・発語練習とでもありがたいです。	・発語練習好評を得ています。内容に関して、物や動物の名前だけでなく挨拶を取り入れる等、種類を増やして行きたいと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	79%	8%	0%	13%		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	88%	8%	0%	4%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	88%	12%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	75%	13%	4%	8%	・曜日固定で利用しているので、他の曜日のプログラムも体験してみたい。	・お子様の障害特性に配慮しながら、活動が固定化しないよう柔軟に対応します。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	33%	17%	12%	38%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96%	4%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	88%	12%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	71%	8%	4%	17%	・以前よりセミナー関係は減ってしまっただ。	・家族等が参加できる研修会等について、情報を提供に努めます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	79%	21%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	79%	8%	13%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	75%	17%	4%	4%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	46%	30%	8%	16%	・きょうだいの支援は受けことがない。 ・毎月でなくてよいので、つぶやきカフェを再開してほしい。	・きょうだいの交流イベントの開催につきまして、前向きに検討させていただきます。 ・つぶやきカフェにつきまして、キッズと確認の上再開を進めていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	76%	4%	4%	16%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	83%	9%	4%	4%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	88%	8%	0%	4%	・HUGの記録が写真付きでよく理解できます。	・活動の様子につきまして、写真を使い分かりやすくお伝え出来るように継続します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	88%	0%	4%	8%	・請求書の取り違えが時々あります。	・配布物の取り違えにつきまして、職員と2重チェックをしながら間違いがないように努めています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	92%	4%	0%	4%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	88%	0%	0%	12%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	80%	0%	0%	20%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	80%	4%	0%	16%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	96%	4%	0%	0%	・好きな活動があり、通所を楽しみにしています。	・引き続き好きな活動に楽しく参加出来るよう努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	84%	4%	8%	4%	・色々なことを一緒に考えて取り組んで下さり、ありがとうございます。 ・利用日を柔軟に対応してくれてありがたいです。	・引き続き保護者様と情報を共有しながら、安全に楽しく過ごせるように努めています。 ・利用日につきまして、引き続きご相談ください。希望に添えるように努めています。